



「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第93号

令和4年9月20日

小2・小5の交通安全教室

9月14日に、教育委員会の職員の方にご来校いただき、2年生と5年生の交通安全教室を開いていただきました。

【2年生】

道路の歩き方、横断歩道の渡り方について、1年生の時の交通安全教室の内容を振り返りながら、確認してくださいました。なぜ道路の右側を歩くのかについては、車は左側通行となるため、車が近付いてくることを確認することができるのが道路の右側ということ、プレゼンテーションソフトを使って、分かりやすく説明してくださいました。そのほか、路側帯という語句の確認、死角、内輪差という言葉の確認もしてくださいました。何よりも、車はブレーキをかけても22m進んでしまうということには、子どもたちは驚き、交通安全の重要性を身に染みて感じた時間でありました。



【5年生】

高学年になると、自分事として考える必要があります。自分の命を守ることにもつながる交通規則の遵守はとても大切であることを再確認する時間となりました。

主に扱った内容は、自転車の乗り方です。自転車五則の確認をしました。①自転車は車道を走ること ②車道は左側通行 ③歩道は歩行者優先 ④交通ルールを守る ⑤子どもはヘルメットを着用

標識を見て、自分で自転車を止めて安全確認することを改めて確認しました。事故に遭ってしまったら、自分が事故を起こさせる原因となってしまうたら、大きな責任を取ることにもなりかねません。交通ルールを守って、自転車に乗ることは自分を守る視点が大事なことに気付きました。

